（参考様式4）

事業所名　ライフケア大手門 グループホーム

作成日：令和　4 年 2 月 1 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	公民館だよりや、地域の年間行事をホーム内に掲示しているが、コロナ禍でふれあいサロンや地域フェ等に参加できていない。カラオケ、傾聴、生花、園児交流、各種ボランティアはコロナ禍で受け入れが行えていない。コロナ禍は行っていた地域への日常的な買い物も出掛ける事が出来ていない。	コロナ禍の有無に関わらず、入居者が地域の催しごとや活動に参加し、ホーム内だけでなく、地域住民として生活することができる。	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたら、地域の催しに参加する。感染状況が著しいなかでは、ふれあいサロンや地域の催しをオンラインでつなぐなど工夫する。地域と入居者をとつなぐことで、コロナ禍の有無に関わらず、地域の一員として生活出来、生活がより豊かに、また楽しめるようにする。	12ヶ月
2	25	コロナ禍で、地域や御家族を含めた避難訓練はできていない。避難訓練の内容に、現実的ではない部分がある。	火災避難訓練における模擬訓練を、実際の状況により近い内容で実践できる。また、地域で認知症ケアを専門で行っている事業所だからこそ、災害時における認知症の方への声掛け方法などを職員・地域の方へ啓発する。	訓練内容が毎回同じような内容となっている為、より現実的な訓練内容を再企画し実践する。また、災害時における認知症の方への声掛け方法など、職員や地域の方へ伝える機会を持つ。	12ヶ月
3	37	コロナ禍で、買物や外食を行えていない為、ホーム内で提供されるものしか楽しめておらず、自分で好きな物を選んで決定し味わう様な楽しみが少ない。	コロナ禍の有無に関わらず、入居者が、買物や外食を楽しむ事ができる。	オンラインでの買い物やデリバリーでの食事会など、入居者に合わせて企画する。新型コロナウイルスが落ち着いたら、入居者それぞれの希望に沿って、一緒に買物や外食、お茶などへ出掛ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。